

本市の生徒指導の実態について

～『成果と課題』及び『生徒指導にかかわる取り組み』～

【本市の実態】

- 問題行動については、平成18年度をピークに減少傾向にある。
喫煙や盗難（万引き）等の発生件数が大幅に減少していることによるが、同一児童生徒が同じ内容の問題行動を繰り返す傾向がある。
- 長期欠席児童生徒数（年間30日以上欠席者）は、中学校では横ばい状態（慢性的課題）であるが、小学校では減少傾向にある。

【成果】

- 問題行動の発生件数は大幅に減少しており、各学校の指導体制がうまく機能している。
- 問題行動や長期欠席者の対応について、関係機関との連携が密に行われている。
- 福祉の面と連携し、幼児期から個々に対するきめ細やかな対応を行うことをとおして、小学校への円滑な就学が行える環境が整備されつつある。

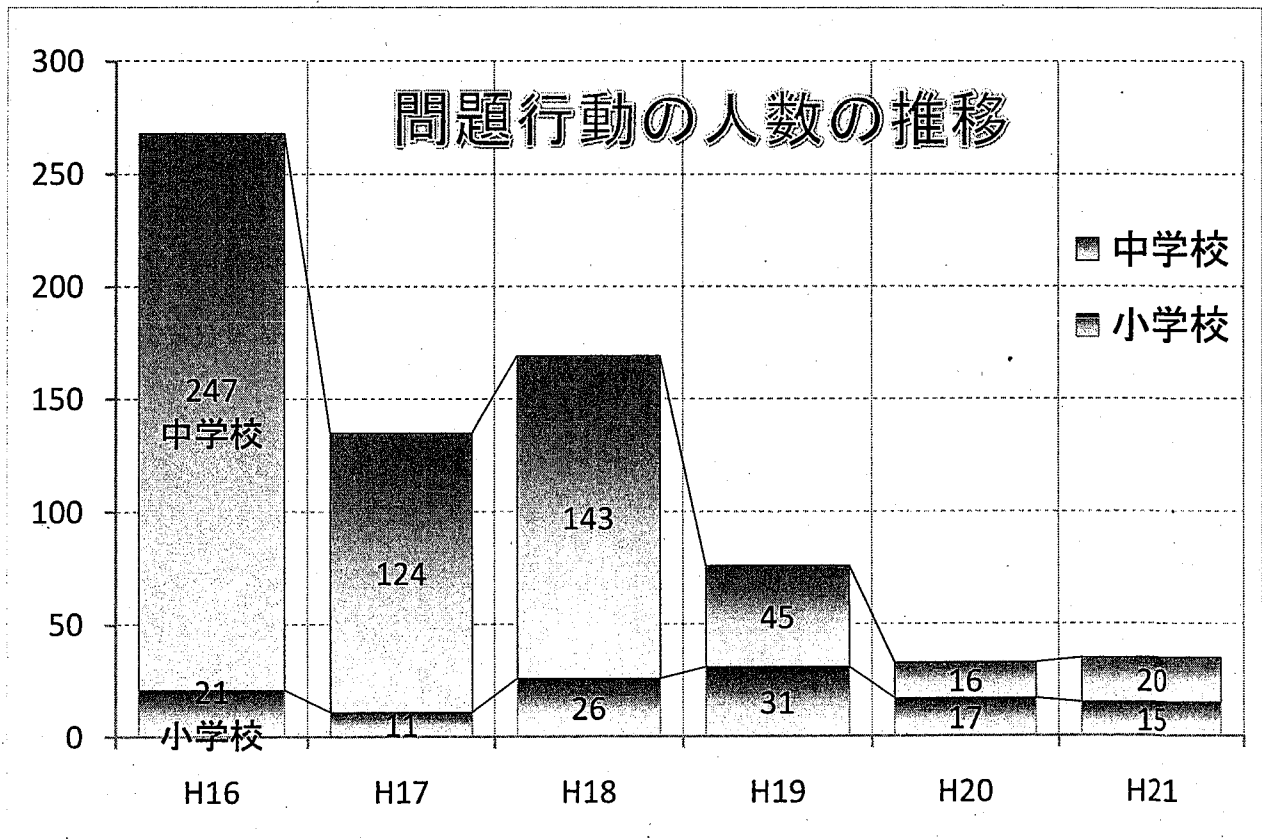
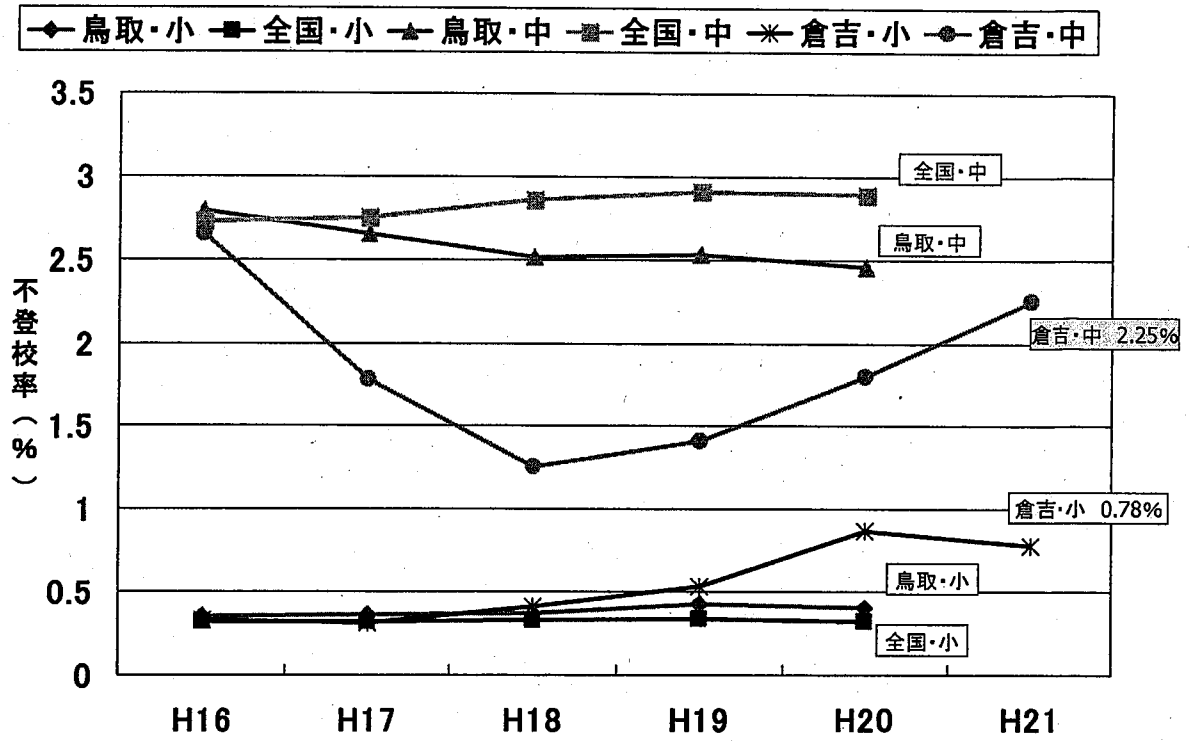
【課題】

- 問題行動を起こしやすい一部の児童生徒に指導が入りにくく、改善が図れない事例がある。
- 携帯電話等の普及により子ども同士のネットワークが広がり、広域化の傾向が見られる。
- 家庭の問題（親の養育の姿勢、親の身勝手等）が原因と考えられる事例が見られる。
- 長期欠席者の改善例も多くあるが、新たな欠席者も増えつつある。

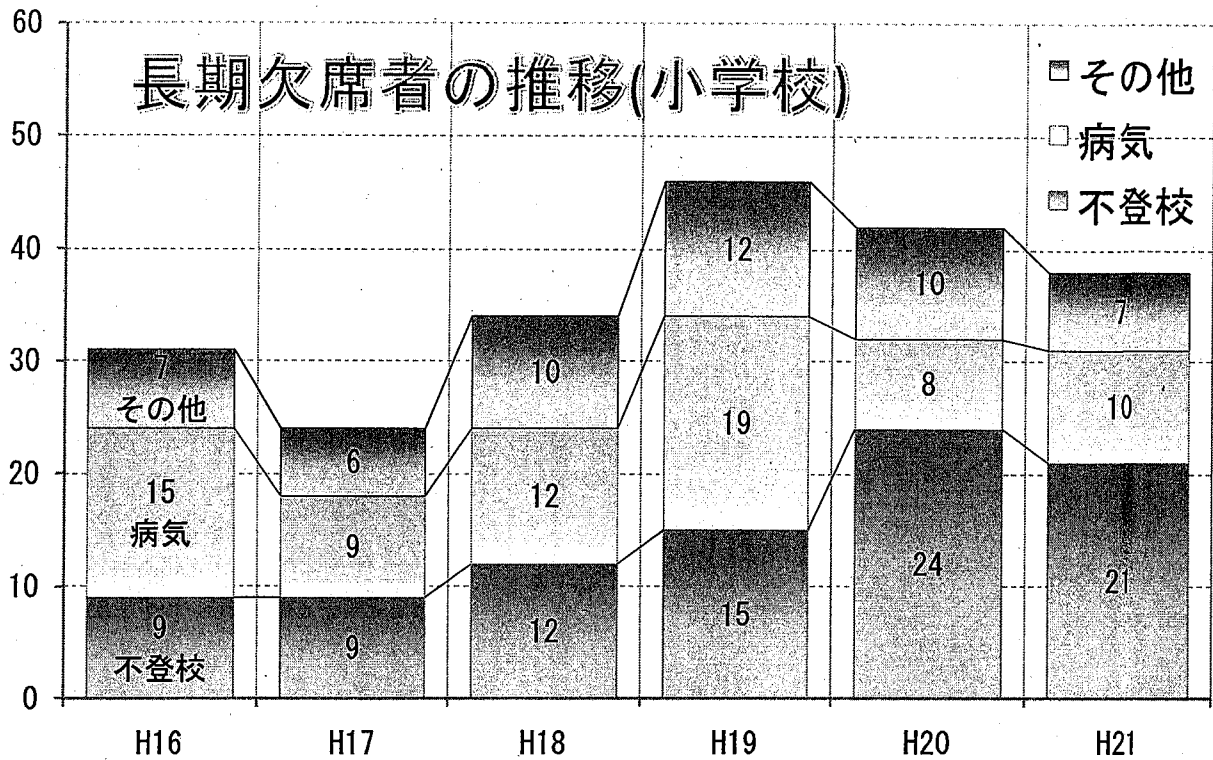
【生徒指導推進に係る本市の主な取り組み】

- 生徒指導に係る学校訪問を実施し、生徒指導上の諸問題について情報交換を行い、指導主事等が助言を行う。
- 生徒指導担当者連絡協議会を開催し、適切な生徒指導の在り方について協議を行う。

不登校率の推移



長期欠席者の推移(小学校)



長期欠席者の推移(中学校)

